

木の香る都市づくり事業

トウテン
TOUTEN
ブックストア
BOOKSTORE

名古屋市熱田区沢上1-6-9

構造／木造2階建て 延床面積／82㎡
内装木質化面積／50.48㎡
木材使用量／3.33㎡

(うち あいち認証材3.33㎡)

樹種／スギ 施主／TOUTEN BOOKSTORE
設計／yuta kunishige-architective/interior
施工／松美建設株式会社 竣工／2021年1月
2020年度木の香る都市づくり事業活用施設

築49年の空き家を改装したセレクトブックショップ

築49年の2階建ての空き家を改装した新刊を取り扱うセレクトブックショップ。

店主がセレクトした様々なジャンルの新刊を揃えており、焼き菓子やコーヒーなどを店内で楽しむことも出来る。木の香る都市づくり事業を活用して導入した木製の本棚は、調湿効果を活かして本にかかる負担を軽減させる効果が見込まれる。





小幡緑地で「食べた」「寝そべった」「しゃべった」をイメージ

県営都市公園の魅力向上を図るため、愛知県で初のPark-PFI制度を活用した新たな公園施設をオープン。3つのエリア（レストラン（木造）、キャンプサイト（宿泊棟（木造）・フリーテントサイト、バーベキューサイト）から構成されている。木材を多用したレストラン棟は木の良さで開放感ある天井が特徴で、ゆったりとくつろげる空間となっている。

オバッタベッタ

名古屋市守山区大字川字東山
（小幡緑地（本園）内）

構造／レストラン：木造1階建

宿泊棟：木造1階建15棟

延床面積／1603.62m²（484.48坪）

竣工年度／2021年6月

木材使用量／23m³

（うち あいちの認証材 杉板35m²）

使用樹種／米松、ヒバ、桧、杉

事業者／中部土木、岩間造園グループ

施主／中部土木株式会社

施工／株式会社ザインウハウス

防水施工／株式会社明光

設計・監理／株式会社手塚建築研究所

第38都市公園等コンクール（一社）日本公園
緑地協会会長賞



写真：Tezuka Architects

株式会社浅沼組 名古屋支店

名古屋市中村区名駅南3丁目3-44

構造／鉄骨造地下1階地上8階建て

延床面積／2,779.64㎡

竣工／2021年9月 施工／浅沼組 施主／浅沼組

設計／川島範久建築設計事務所、

浅沼組一級建築士事務所

木材使用量／40.78㎡

木材使用によるCO₂固定量／28,546kg

使用樹種／スギ（吉野杉）、ヒノキ

2022年度グッドデザイン賞受賞



人にも地球にもよい循環を もたらすオフィス

人が暮らす環境から地球環境まで、総合的に環境のことを考える「ReQuality」というリニューアル事業ブランドのコンセプトのもと、第1号として名古屋支店の改修が実施された。土や木といった自然素材や植栽を多用することで、創造力を刺激する空間を目指している。

樹齢130年の吉野杉をそのまま使用した柱と植栽によって、自然を感じることでできる外観となっている。



タマディック 名古屋ビル

名古屋市中区丸の内2-15-25

構造／鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
木造、鉄骨鉄筋コンクリート造（免
振構造）

延床面積／約4,200㎡ 竣工／2021年11月
施主／有限会社タマディックホールディン
グス（入居者：株式会社タマディッ
ク）

設計／株式会社坂茂建築設計

施工／株式会社大林組 名古屋支店
木材使用量／約540㎡（CLT部分）



撮影：平井 広行

CLTを活用した 木質免震構造オフィスビル

世界的建築家 坂 茂氏の設計による、国産スギ材のCLTと鉄筋コンクリートを組み合わせた地上8階・地下1階の木質免震構造オフィスビル。CLTを型枠兼耐力壁として使用し、そのまま現しの内装としている。

最上階には社員誰もが利用できるフィンランド式サウナを設置するなど、健康促進や社員間のコミュニケーション活性化にも力を入れ、木のあたたかな執務空間を持った”働きがいのあるオフィス”を実現している。



撮影：平井 広行



撮影：平井 広行



ささしま高架下オフィス

木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設

名古屋市中村区下広井町一丁目他

構造／木造2階建て 延床面積／985.82㎡

竣工／2022年3月

木材使用量／166.54㎡

(うち あいち認証材27.123㎡)

施主／名古屋ステーション開発株式会社

設計／有限会社マル・アーキテクチャ

施工／シーエヌ建設株式会社

第6回あいち木づかい表彰最優秀賞

令和4年度木材利用優良施設等コンクール

優秀賞受賞

2022年度グッドデザイン賞受賞

ウッドデザイン賞2022受賞

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

東海道新幹線高架下に建設された 木造2階建てのオフィスビル

鉄道高架橋に影響を与えないよう建物の軽量化と、オフィスの大空間確保を両立させるため、高機能繊維と木材のハイブリッド新素材の梁を採用することで、木を現しつつ柱のない広いオープンスペースを確保し、開放的なオフィス空間を創出している。

商業施設が集まるエリアにあり、施設横を走る鉄道の車窓や街路から、ガラス張り外壁を透して木構造を見ることができる。主要構造材（梁）に愛知県東三河産の木材を使用している。



写真撮影（下2点）：関拓弥

名古屋ビルディング桜館

名古屋市中村区名駅四丁目2-25

構造／鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階地上12階建て

延床面積／11,315.20㎡ 内装木質化床面積／120㎡
木材使用量／14.703㎡（うちあいち認証材14.703㎡）
内装木質化面積／229.5㎡（うちあいち認証材229.5㎡）

施主／名古屋ビルディング株式会社

基本設計／株式会社日建設計

実施設計・施工／清水建設株式会社

竣工／2022年3月

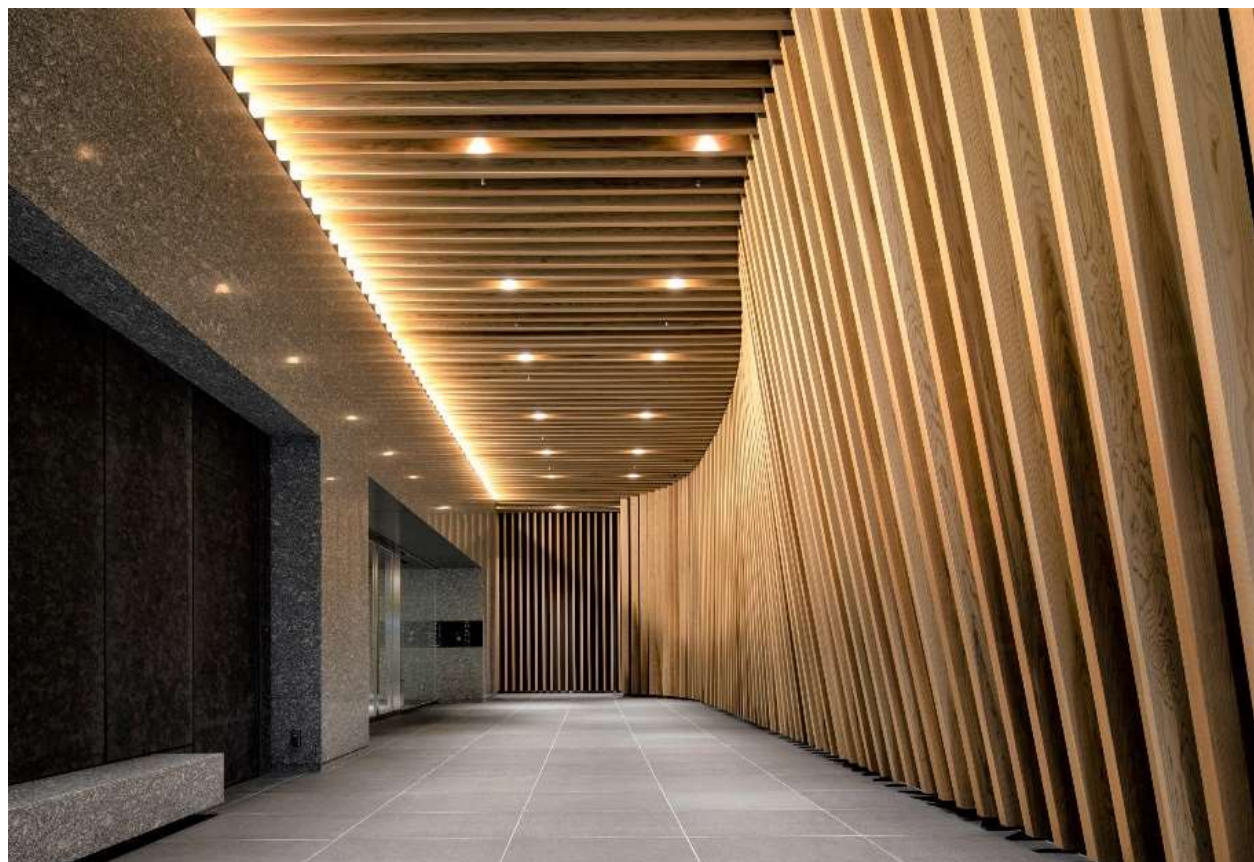
令和4年度木材利用優良施設等コンクール優秀賞受賞

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

幕開けをイメージしたドレープ状のデザインが印象的なオフィスビル

縦横の木材が緩やかなカーブを描く印象的なエントランスホール。オフィス街の中に木のぬくもりを感じさせる。

名古屋駅と国際センター駅の間に立地し、人通りの多い道路からエントランスの木質化部分が見え、多くの人に木材の魅力が伝わるデザインとなっている。





木の香る都市づくり事業

スペース七番ラウンジ

名古屋市中区錦二丁目 7

構造／鉄骨鉄筋コンクリート造30階建て

延床面積／45,000㎡うち 2階ラウンジ

竣工／2022年3月

内装木質化面積／ 31.75㎡

(うちあいち認証材31.75㎡)

木材使用量／ 1.89㎡

(うち あいち認証材 1.89㎡)

施主／錦二丁目エリアマネジメント株式会社

設計／再生空間合同会社

施工／材惣木材株式会社

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設



7番街区エリアを彩る木材製品

周辺地域で木材の利用を促進する活動実績がある都市の木質化プロジェクト（錦二丁目まちづくり協議会の一部会）の活動の一環として、既設ビル内に内装木質化を施した施設が整備された。

施設利用者、とくに子供を対象に、あいち認証材の魅力を身近に感じてもらえるよう、楽しく思わず触れたいくなるようなデザインとなっている。





カゴメビル

名古屋市中区錦3丁目14番15号

構造／鉄骨造 地上 11階・地下 1階建て
 延床面積／4,427.82 m²
 竣工／2022年6月 木材使用量／20.677m³
 使用樹種／欧州赤松、ヒノキ、タモ等
 施主／カゴメアクシス株式会社
 設計・施工／株式会社竹中工務店
 コンストラクションマネジメント／
 日建設計コンストラクションマネジメント
 株式会社

籠の目をモチーフとした印象的なデザイン

この地域のランドマークとして、地域に愛されるデザインを目指し、1階のキッチンフロアの内装や建物低層部の外観部分は、社名である「カゴメ」の由来となった「籠の目」をモチーフとしたユニークなデザインとなっている。

外観部分に使用されている木材は、木の素材感を活かすため、無塗装となっており、曲面に合わせて1本ずつ角度が調整されている。吹き抜けで2階まであがっていく様が迫力のある印象的な外観を作り出している。



中村区役所等 複合庁舎

名古屋市中村区松原町一丁目23-1

構造／鉄筋コンクリート造地下1階 地上5階建て

延床面積／17,679㎡ 木質化面積／934.3㎡

竣工年度／2023年1月

施主／名古屋市

設計／竹中工務店、伊藤建築設計事務所JV

施工／竹中工務店

日本空間デザイン賞2023入選



波打つスギ材ルーバーが作り出す 開放的な空間

住宅街の中へ移転した中村区役所新庁舎は、保健センター、土木事務所、市税事務所を集約した複合庁舎として整備された。

吹き抜けの天井と木製ルーバーが合わさることで、圧迫感を軽減し、訪れる市民へ木の温かさと開放感を感じさせる作りとなっている。また木製ベンチなど庁舎内の随所で県産木材が利用されており、一体的な木質化空間を構成している。



写真（下）：（株）ナカサアンドパートナーズ



©多田ユウコ

木の温もりを五感で感じながら、 感性豊かな保育時間を過ごす

緑に囲まれた園に増設された園舎は、地上園庭から屋上園庭まで立体的につながった設計となっている。

園舎内は、愛知県産のヒノキを床、壁、天井、家具に使用している。節のあるヒノキを使用することで、視覚的な変化を楽しむことができ、床は素足で過ごす園児の足の負担軽減を図り、木の温もりを直接肌で感じながら過ごすことができるデザインとなっている。

木の香る都市づくり事業

しんせいひがしが

新生東志賀保育園

名古屋市北区志賀町5-2

構造／RC造2階建て

延床面積／135.07㎡ 竣工／2023年2月

内装木質化面積／158.14㎡

(うち あいち認証材158.14㎡)

木材使用量／5.58㎡ (うち あいち認証材4.18㎡)

樹種／ヒノキ、ベイマツ、シナ

施主／社会福祉法人名古屋新生福祉会

設計／吉野純子建築設計室 + clublab.

施工／ICMパートナーズ協同組合

2022年木の香る都市づくり事業活用施設



©多田ユウコ



©多田ユウコ